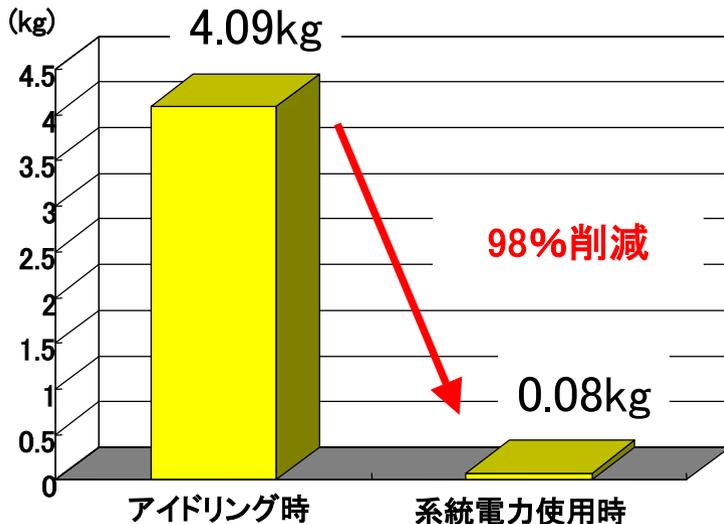


# 実証試験の結果 ～CO<sub>2</sub>削減効果、コストダウン効果～

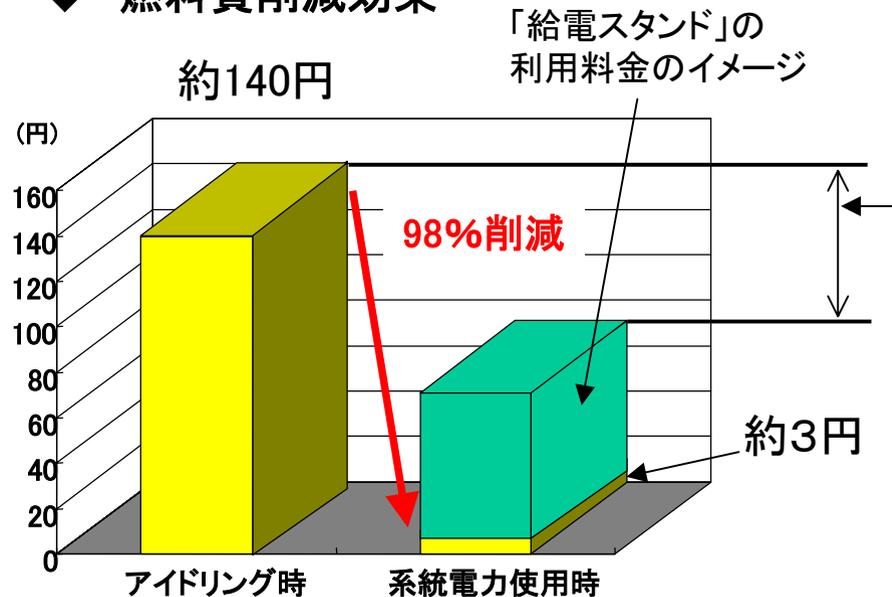
## 大型トラック1台のアイドリング1時間あたりの試算例

### ◆ CO<sub>2</sub>排出量削減効果



実証試験実施期間: 平成17年8月1日  
～平成18年10月31日

### ◆ 燃料費削減効果



給電スタンドの利用料金を加味しても、  
50%程度の燃料費低減が図れる

#### <試算根拠>

- ※ 軽油のCO<sub>2</sub>排出係数=2.62 [kg-CO<sub>2</sub>/L] (環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」ver.1.2:平成19年2月公表より)
- ※ 東京電力のCO<sub>2</sub>排出係数=0.368 [kg-CO<sub>2</sub>/kWh] (環境省「排出量算定・報告・公表制度」に用いる東京電力のCO<sub>2</sub>排出係数(平成17年度実績))
- ※ 大型トラックの燃料消費量=1.56ℓ/h (代表的な数値として環境省HPより引用)
- ※ 燃料単価=90円/ℓ (平成17年8月～平成18年10月までのローリー価格の平均(全日本トラック協会調べ、税抜き))
- ※ 消費電力量は、実証試験期間中の電力消費量の平均値=0.22kWh(電力消費量/接続時間)
- ※ 電力料金単価=12円00銭/kWh  
「電気需給約款」供給電圧6kV・契約電力500kW未満、業務用電力  
夏季「7月1日から9月30日までの期間」料金による(税抜きでは11円43銭、基本料金は含まない)